



社会福祉法人 人を支える 生活を支える

# 佐賀整肢学園

SAGA SEISHI GAKUEN Since 1960

- 発行：令和4年9月
- 発行元：社会福祉法人 佐賀整肢学園
- 発行者：理事長 中尾清一郎
- 編集：法人広報誌編集委員

# 学園タイムス

## 2022-9 Vol.35

社会福祉法人 佐賀整肢学園

### Sagaseishigakuen times

#### 「朝の月灯り」

唐津市鎮西町にある波戸岬キャンプ場のサンセットエリアからの朝月です。夕日が大変きれいで人気のあるキャンプサイトですが、海面に投影される朝の月灯りもまた趣があります。非日常体験のできるおすすめのスポートです。



- 巻頭言…2
- REPORT…3
- 事業所 TOPICS…4～5
- 決算報告…6
- 学園 FOCUS…7
- 常務随想 リレーコラム…8
- ボランティア・施設見学・実習状況 みどころ…8

|   |  |  |   |
|---|--|--|---|
| <b>法人事務局</b><br>〒849-0906<br>佐賀県佐賀市金立町大字金立2215-27<br>TEL0952-97-6611 FAX0952-97-6611          | <b>こども発達医療センター</b><br>〒849-0906<br>佐賀県佐賀市金立町大字金立2215-27<br>TEL0952-98-2211 FAX0952-98-3391 | <b>オークス</b><br>〒849-0906<br>佐賀県佐賀市金立町大字金立168-1<br>TEL0952-98-3770 FAX0952-98-3772        | <b>かんざき清流苑</b><br>〒842-0107<br>佐賀県神埼市神埼町鶴2927番地2<br>TEL0952-52-8890 FAX0952-52-9977         |
| <b>在宅サポートセンターかんざき清流苑</b><br>〒842-0107<br>佐賀県神埼市神埼町鶴2927番地2<br>TEL0952-52-8915 FAX0952-52-9977 | <b>からつ医療福祉センター</b><br>〒847-0001<br>佐賀県唐津市双水2806<br>TEL0955-70-3580 FAX0955-78-0683         | <b>からつ医療福祉センター-在宅事業部</b><br>〒847-0001<br>佐賀県唐津市双水2806<br>TEL0955-70-3580 FAX0955-78-0683 | <b>からつ医療福祉センター-好学舎</b><br>〒847-0001<br>佐賀県唐津市双水2787-1<br>TEL0955-78-1123 FAX0955-78-3001    |
| <b>糸島子どもとおとなのクリニック</b><br>〒819-1301<br>福岡県糸島市志摩井田原63-1<br>TEL092-327-0073 FAX092-327-0361     | <b>かんざき日の隈寮</b><br>〒842-0107<br>佐賀県神埼市神埼町鶴2950-2<br>TEL0952-52-2229 FAX0952-52-7229        | <b>佐賀向陽園</b><br>〒849-0906<br>佐賀県佐賀市金立町大字金立801-1<br>TEL0952-98-1074 FAX0952-98-3145       | <b>居宅介護支援センターわいわい</b><br>〒849-0906<br>佐賀県佐賀市金立町大字金立799番地<br>TEL0952-71-8250 FAX0952-71-8252 |



## 歴史から学び、 そして未来へ

佐賀整肢学園・かんざき清流苑

副施設長

鵜池 恭子

コロナ、コロナと合い言葉の様に口ずさみ続けた2年半が、あっという間に過ぎ去ります。還暦をとくに過ぎた私がこんなにも早く時が過ぎて欲しいと願ったことはありません。この平和な日本で、会いたい人に自由に会えないとは…。私だけでなく、誰もが感じていることではないでしょうか。シェークスピアのマクベスの台詞にある「明けない夜はない」と言う言葉を唱えながら、子供や孫たちと思いきりハグできる日が来るのを待っています。

さて、私は若い頃、子供達の添削の仕事をしていました。子供達から送られてくる答案に質問コーナーがあり、ある小学生が「先生、どうして歴史を勉強するんですか?」と聞いてきたことがあります。私は、「今を生きている私たちは、歴史を知ること、勉強することで未来を幸せにすることが出来るんだよ」と答えた記憶があります。このコロナ禍の試行錯誤も将来の導きとして、私たちに生きる術を教えてくれることと思います。

私は、平成10年4月、清流苑の開設と同時に採用されました。今年で25年目を迎えます。開設当時は専門職員が少なく、看護師を中心にケアを実施しました。夜間のオムツ交換は、苑内を1周すれば次のオムツ交換の時間になり、一晩中ぐるぐると周り続けていたような気がします。平成12年度から、介護保険制度がスタートし、措置から契約へと変わっていきました。利用者の方から「選ばれる施設」を目指し、いろんなことに悩みながら、たどり着いた今日です。業務マニュアルはそんな経験の中から学び、反省し作り上げたものです。これも清流苑の歴史から学んだものと言えると思います。

今、私たちが取り組んでいることは、最期を清流苑で迎える(看取り)ということです。最近、生活の場である介護施設で最期を迎えたいという高齢者が増えています。実際に、令和3年は清流苑でも8名の方を終末までお世話しています。

看取りで大切な事は、本人の意向、家族の意向、スタッフの想いが一つに繋がることだと思います。そして何よりも私たちが安心して看取りに取り組むことが出来るのは、嘱託医的野先生を始め、こども発達医療センターの先生方のご協力をいただいているということです。

施設では、ほとんどの方が終の住処として入所されます。清流苑が開設して、自宅復帰された方はほとんどいらっしゃらないというのが現状です。徐々に食事が入らなくなったり、全身の状態が低下したりすることで、看取り

への準備を始める訳ですが、ある専門誌によれば、施設での看取り介護はこのような状態から始まっているのではなく、日常のケアの延長線上にあると書かれていました。この言葉にとても共感しました。日頃から本人や家族の方とのコミュニケーションを図ることで、本人の想い、家族の想いに沿った終末期のお世話ができるということです。

終末期において、意思疎通がとれない本人の意思をどう判断するかが、ご家族が最も悩まれることです。先生は、本人が元気だった頃の会話や、その方の人生観等を思い起こして選択されてはどうかと投げかけられることがあります。最後に悔いが残らないように、お父様、お母様の人生を家族で振り返る時間が生まれます。この場面に立ち会うたびに、私も自分の終末期のことを、しっかり家族に伝える必要があると感じています。子供達が悩まなくていいように。

看取りを始める前は、「死」に対してとても怖いもの、大変なものと思っていました。今、最期の瞬間に立ち会える私たちは、「死」に対しての恐怖感が和らぎ、尊いものと思えるようになりました。

娘さんが最期の瞬間、お母様の手をとり、「今度、コーヒー持ってくるよ。」とささやかれると、最後の力を振り絞って大きく頷かれることがありました。お元気なときに娘さんと喫茶店で過ごしたことを思い出されているように見えました。とても穏やかな表情が印象に残っています。

最近、神埼地区の医療連携の研修会で、「ケアニン あなたでよかった。」という映画を見ました。施設で最期を迎えるという内容でした。「看取りとは、その方の生きることを最後までお手伝いをする」と言う台詞がありました。看取りとは死を迎えることと捉えていた私は「はっ」とさせられました。

私たちはこれからも、最期の瞬間まで、その方らしく生きることをしっかりお手伝い出来るように、チームで取り組んでいきます。家族に後悔させない看取りケア。「清流苑で良かった」と言っていただけの日々研鑽していきます。

最後に佐賀整肢学園で働かせていただいていること、また、たくさんの方とのお縁をいただいていることに心より感謝いたしております。清流苑はこれからもいろんな歴史を紡ぎながら、地域に根ざした福祉施設として邁進していきます。これからも引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 贈呈式

### 大和証券株式会社様より寄附金贈呈（こども発達医療センター）

大和証券グループが今年5月に120周年を迎えられたことを記念し、未来を担う子どもたちへの支援を目的に「大和証券グループ120周年記念 こどもの未来プロジェクト」が新たに開始されました。

このプロジェクトでは、全国の大和証券本・支店がそれぞれの地域で選定する「子ども支援団体（子どもの将来の貧困リスクを低減するなどの取組みを実施する団体）」に対して寄附活動が実施され、今回、その活動の一環として、こども発達医療センターへ寄附のお申し出がありました。

令和4年6月9日に贈呈式が行われ、大和証券株式会社佐賀支店 辻大地支店長より「子どもたちの医療サービスや生活の質の向上、自立支援に役立てて下さい。」との思いを込められ寄附金が贈呈されました。中尾理事長からは「経済的な支援を必要とする子どもたちのために寄附金を活用します。ありがとうございました。」と謝辞が述べら



れました。

この寄附金は、現在入所されている児童の生活用品費や、18歳で退所して一人暮らしを始める方の家財道具準備費用など、有意義に活用させていただきたいと思っております。

このたびは、誠にありがとうございました。

（こども発達医療センター 事務長 石井 茂吉）

## 研究会

### 生活困窮者向け介護職員初任者研修（かんざき日の隈寮）

令和4年1月～3月にかけて、かんざき日の隈寮利用者の方の介護職員初任者研修受講及び資格取得の支援を行いました。経緯として、利用者の方が介護の資格を取得することができれば、人手不足の現状にある介護業界への就労や地域移行に繋がるのではないかと考えたことが挙げられます。しかし、コロナ禍という情勢のため講座の中止等があり実施が困難になっていました。佐賀県と協議した結果、県のモデル事業として生活困窮者を対象とした介護職員初任者研修が、神崎市で実施されることとなりました。希望者を募った結果、利用者の方5名が受講することとなりました。施設内では、勉強会・模擬テストを実施する等、資格取得のための様々な支援をしました。勉強時間や場所を確保し、分からない点は職員が解説を行いました。当施設や清流苑の職員も講師を務め、研修に協力しました。研修期間は、適宜、巡回・見守りを実施し、研修受講がスムーズにいくよう配慮しました。また、実技演習には職員も参加し、被介助者役を務め練習台となることもありました。様々な支援を行い、3月末に試験を迎えましたが、残念ながら不合格の利用者の方もおられました。そのため、再度試験勉強を実施、追試験・再追試験等経て、無事5名全員合格となり資格取得に至りました。「今後の仕事に活かしていきたい」、「とても良いチャンスで嬉しかった」等の感想があり、満足のいく研修となったようです。今後は地域



神埼清明高校にて最新機器を使つての実技講習



研究大会でのオンライン発表中（左が筆者）



県の事業担当者より修了証授与

貢献活動として、かんざき日の隈寮が介護職員初任者研修を主催することも検討しています。今回の経験を活かして、利用者の方だけではなく、地域の困窮者の方の資格取得を支援できたらと思っています。

今回の資格取得支援について、7月7日・8日に開催された第45回九州地区救護施設職員研究大会にて「利用者の方の地域移行に向けた資格取得支援について」というテーマで意見発表を行いました。利用者の方・職員の皆様のご協力にて、優秀賞を受賞することができ、今回の取り組みが評価されたことを嬉しく思っております。今後も利用者支援、地域貢献活動に務めていきたいと思っております。

（入所サービス課 生活支援員 小林 恭子）



就労継続支援B型事業所くるみランドリーは、からつ医療福祉センターから約7km離れた、唐津市相知町の福祉ホームくるみの家と隣接しており、現在8名の方が利用されています。

洗濯作業の他に、工賃向上に繋げる為、園芸作業、シュレッダー作業、ポケットティッシュにからつ医療福祉センターの案内を入れる作業、手芸作業等を行っています。

洗濯物を仕上げるまでには色々な工程があり、できることに応じて作業を依頼しています。機械操作は主に職員が行い、利用者の方には衣類の振り分けや折りたたみ作業を受け持っています。衣類の振り分け作業では、歩ける方には高い位置のカゴに、車椅子の方には低い位置のカゴに振り分けてもらい、文字が読めない方には、靴下の色や柄合わせをしてもらっています。たたむ作業においては、たたみ方を忘れてしまう方でも、目で見て確認できるように、衣類のたたみ方の写真を作業台と壁に掲示しています。

利用者の方それぞれの能力の違いや出来ることを見出し、職員と利用者の皆さんが一体となり、毎日沢山の洗濯物をチームワークで仕上げています。

(在宅サービス課 職業指導員 近藤 郷恵)



オークス体育大会

5月

オークス

5月28日、入所にて体育大会を開催しました。競技内容は屋内集会所にて、ポッチャ風ボーリングを行いました。

ボーリングの球は、ソフトバレーボールを使用し、自分で投げたり蹴ったり、職員手作りのスロープを使って転がしたり、各々が持っている運動能力に合わせた投球方法で投げられています。

今年もコロナ感染防止対策の観点から、密を避けるために利用者の皆さんを4チームに分け、チーム交代制とし1チーム15分ずつで競技をしています。今年は同時に別棟である在宅サポートセンターのグループホームあったかでも開催し、内線でお互いの点数を確認し合うことで、オークス全体での行事となり大いに盛り上がりしました。

チーム戦の総合優勝はグループホームあったかので、優勝商品はなんとプリン！あったかの利用者の皆さんが嬉しそうに「美味しいね！」と可愛い笑顔を見せてくれました。個人 MVP 賞もあり、「ヤッター!!!」とガッツポーズ。準優勝だった入所のチームにはゼリーを贈呈し、午後からのティータイムの時間にささやかながら祝勝会ができました。

利用者の皆さんが楽しそうに、時に真剣に競技されており、チーム戦では結束力が生まれ、日常ではなかなか見られない表情を見ることができました。普段は居室で過ごすことが多い利用者の方も練習から参加され、身体を使った運動をすることで、意欲向上や筋力維持にも繋がるのではないかと思います。

これからも、利用者の皆さんの笑顔をよく見られるよう行動していき、楽しい時間を一緒に共有していきたいと思っています。

(入所サービス課 生活支援員 村岡 遥)



餃子パーティー

5月

かんざき清流苑



グループホームでは、コロナ禍にあっても、利用者の皆さんには少しでも楽しい生活を送っていただきたいと思います。感染対策には十分配慮しながら、毎月行事を行っています。

外出では、季節の風を感じながら、神埼付近ののどかな風景を楽しみ、利用者の皆さんと詰めた、旬の食材が入ったお弁当を、のんびり食べていただきます。

競技会では、驚く程に体を動かされ、熱戦が繰り広げられ、毎回利用者の方と職員の笑い声でいっぱいです。

調理会では、割烹着やエプロン、三角巾を身にまとわれた利用者の皆さんが、それぞれに役割を持たれ、職員と一緒に作っていかれます。普段食べる機会が少ない物も作っており、ハンバーガーやクレープ、どら焼き、5月には餃子を作りました。お一人お一人餃子の餡を混ぜ、包んでいかれます。その際、迷い不安にならないように、職員もしっかりと側に付き、楽しんで作っていただける様に心掛けています。いろんな形の餃子が出来上がると、目の前で焼き、美味しそうに食べられました。

ここ二年程の間、利用者の方の入院や退去がない理由の一つとして、食事を楽しんで美味しく食べられている事があるのではと思います。今後も、食事を楽しんでいただける環境を職員みんなで作っていき、「美味しかねー」と利用者の皆さんと職員と一緒に食べられる日が早く来る事を願っています。

(在宅サービス課 係長 御厨 彩子)

# 事業所 TOPICS

(5月～7月)

## 河川清掃

6月

佐賀向陽園・わいわい



6月2日、日の隈寮利用者の皆さんと共に、園周囲の河川清掃に取り組みました。新型コロナウイルスの感染拡大防止により中止していましたが、今回3年ぶりに河川清掃を行うことができました。

以前は、向陽園の利用者の方と職員で行っていましたが、高齢化・虚弱化に伴い、平成26年からは日の隈寮の就労支援を活用させていただきながら取り組んできた活動です。

日の隈寮の利用者の皆さんは、現役さながらに草刈り機を使用し、手際よく草刈りを行っていただいたり、河川の中に入り、河川の泥上げ等、重労働をしていただきとても助かりました。

梅雨時期になると毎年思い出す事があります。向陽園北門の前には、「立曲溜池」(りつきよくためいけ)という農業用溜池があります。令和元年8月の佐賀豪雨では、立曲溜池の水位上昇は認めましたが、決壊することなく、園の建物や設備には大きな被害はありませんでした。しかし、近くの大門地区は家屋倒壊・土砂災害の被害があり、水道管破損があった為、園への水道供給が3日程ストップしてしまいました。断水当日に、法人内他施設の応援により飲料水等の確保ができ、デイサービスの営業も止める事無く、利用者の方を受け入れられた事を大変感謝しています。

例年、梅雨入り前に、地域貢献の一環として河川清掃を行うことで、水害の被害を最小限に留め、さらに景観美化にも繋がっています。

新型コロナウイルスの感染状況は、第7波に突入しました。行事が縮小する中、対人的な行事により、人と人の繋がりを再認識する事ができた一日でした。法人内の利用者・職員の皆さんに感謝いたします。

(居宅介護支援センターわいわい 主任 宮本 稔也)



## ラーメン会

7月

かんざき日の隈寮



7月21日にラーメン会を行いました。今年も、全国のご当地ラーメンとコラボしたインスタントラーメンに加え、焼きそばやちゃんぽん等の、バリエーション豊かなラインナップを用意しました。そして、利用者の皆さんに選んでいただいたインスタント麺を、餃子や杏仁豆腐と一緒に提供しました。

利用者の皆さんも、ラーメン会の実施を楽しみにされていた様子であり、当日は会が始まる前から、誰がどのラーメンを選んだかという話題で持ち切りでした。会の最中も「待ちきれない!」、「早く食べたい!」と言わんばかりに食堂に集まられており、

目の前にラーメンが運ばれて来た際に、目を輝かせていた利用者の方の顔はとても印象的でした。普段食が細い利用者の方の多くが完食されており、普段と違う特別なメニューに大変満足された様子でした。

ラーメン会終了後、利用者の方からは「ラーメンが美味しかった。」「また食べたい。」等の感想をいただきました。次年度もより楽しいラーメン会になるよう企画し、利用者の皆さんに喜んでもらえるように努めたいと思います。

(入所サービス課 生活支援員 天本 薫)



## 第1病棟 夏季療育プログラム

7月

こども発達医療センター



令和4年度の夏季療育プログラムでは、季節感を重視した療育を実施いたしました。

7月25日は、当日行うことができなかつた七夕会を開き、職員扮する織姫、彦星がクイズ大会を開きました。いつも真面目な職員が仮装をしている姿に、利用者の方からは笑みがこぼれていました。

8月4日は、ピニャータと呼ばれるメキシコの紙風船でスイカを作り、チャンバラ棒で割る遊びを実施しました。割った紙風船の中から、おやつや紙吹雪が出てくると、利用者の方々は声を上げて喜んでおられました。

8月19日は、利用者の方々も楽しみにしておられた縁日を開催しました。射的や千本くじを体験し、当たったおやつを大事そうに食べられていました。

どの療育でも、利用者の方々は明るい表情をされていました。活動の中で周りの人たちと協力したことや、真剣に取り組んだことが、今年の夏の良い思い出となれば、と思います。

(第1療育課 保育士 江崎 大志)



# 決算報告

法人全体の令和3年度決算は次のとおりであり、6月30日の定時評議員会で承認されました。  
(社会福祉事業：13拠点 公益事業：2拠点)  
令和3年度の資金収支差額は38,799千円であり、サービス活動増減差額は54,994千円の減収となりました。  
また、純資産は405,774千円の増額で約170億円となりました。

## 資金収支計算書

単位：千円

|                                 | 勘定科目                   | 予算        | 決算        | 差異       |
|---------------------------------|------------------------|-----------|-----------|----------|
| 事業活動による収支                       | 収入                     |           |           |          |
|                                 | 介護保険事業収入               | 627,355   | 618,899   | 8,456    |
|                                 | 老人福祉事業収入               | 201,635   | 199,875   | 1,760    |
|                                 | 児童福祉事業収入               | 212,127   | 213,539   | △1,412   |
|                                 | 保育事業収入                 | 5,248     | 5,561     | △313     |
|                                 | 就労支援事業収入               | 9,700     | 3,514     | 6,186    |
|                                 | 障害福祉サービス等事業収入          | 2,127,633 | 2,112,166 | 15,467   |
|                                 | 生活保護事業収入               | 261,068   | 261,323   | △255     |
|                                 | 医療事業収入                 | 3,084,164 | 3,043,230 | 40,934   |
|                                 | 私的契約事業収入               | 9,485     | 12,112    | △2,627   |
|                                 | 経常経費寄附金収入              | 4,117     | 3,566     | 551      |
|                                 | 受取利息配当金収入              | 11,116    | 10,945    | 171      |
|                                 | その他の収入                 | 13,321    | 12,602    | 719      |
|                                 | 事業活動収入計(1)             | 6,566,969 | 6,497,334 | 69,635   |
|                                 | 支出                     |           |           |          |
|                                 | 人件費支出                  | 4,392,323 | 4,295,539 | 96,784   |
|                                 | 事業費支出                  | 820,622   | 785,416   | 35,206   |
|                                 | 事務費支出                  | 579,019   | 479,916   | 99,103   |
|                                 | 就労支援事業支出               | 9,700     | 8,326     | 1,374    |
|                                 | 利用者負担軽減額               | 1,804     | 1,735     | 69       |
|                                 | その他の支出                 | 0         | 0         | 0        |
|                                 | 流動資産評価損等による資金減少額       | 0         | 0         | 0        |
|                                 | 事業活動支出計(2)             | 5,803,468 | 5,570,932 | 232,536  |
|                                 | 事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)  | 763,501   | 926,402   | △162,901 |
|                                 | 施設整備等による収支             |           |           |          |
|                                 | 収入                     |           |           |          |
|                                 | 施設整備等補助金収入             | 36,659    | 34,856    | 1,803    |
|                                 | その他の施設整備等による収入         | 25        | 25        | 0        |
|                                 | 施設整備等収入計(4)            | 36,684    | 34,881    | 1,803    |
|                                 | 支出                     |           |           |          |
|                                 | 設備資金借入金元金償還支出          | 2,760     | 2,760     | 0        |
|                                 | 固定資産取得支出               | 228,038   | 204,400   | 23,638   |
|                                 | ファイナンス・リース債務の返済支出      | 0         | 0         | 0        |
|                                 | その他の施設整備等による支出         | 0         | 0         | 0        |
|                                 | 施設整備等支出計(5)            | 230,798   | 207,160   | 23,638   |
|                                 | 施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5) | △194,114  | △172,280  | △21,834  |
|                                 | その他の活動による収支            |           |           |          |
| 収入                              |                        |           |           |          |
| 長期貸付金回収収入                       | 4,614                  | 4,511     | 103       |          |
| 積立資産取崩収入                        | 232,982                | 162,317   | 70,665    |          |
| その他の活動による収入                     | 0                      | 0         | 0         |          |
| その他の活動収入計(7)                    | 237,596                | 166,828   | 70,768    |          |
| 支出                              |                        |           |           |          |
| 長期貸付金支出                         | 7,760                  | 5,036     | 2,724     |          |
| 積立資産支出                          | 877,531                | 877,115   | 416       |          |
| その他の活動支出計(8)                    | 885,291                | 882,151   | 3,140     |          |
| その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)         | △447,695               | △715,324  | 67,629    |          |
| 予備費(10)                         | 4,770                  | —         | 3,945     |          |
| 当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10) | △82,253                | 38,799    | △121,052  |          |
| 前期末支払資金残高(12)                   | 2,072,390              | 2,072,387 | 3         |          |
| 当期末支払資金残高(11)+(12)              | 1,990,137              | 2,111,186 | △121,049  |          |

## 事業活動計算書

単位：千円

|                                    | 勘定科目                  | 当年度決算     | 前年度決算     | 増減      |
|------------------------------------|-----------------------|-----------|-----------|---------|
| サービス活動増減の部                         | 収入                    |           |           |         |
|                                    | 介護保険事業収益              | 618,899   | 620,415   | △1,515  |
|                                    | 老人福祉事業収益              | 199,875   | 203,222   | △3,346  |
|                                    | 児童福祉事業収益              | 213,539   | 226,736   | △13,196 |
|                                    | 保育事業収益                | 5,561     | 4,939     | 623     |
|                                    | 就労支援事業収益              | 3,514     | 4,066     | △552    |
|                                    | 障害福祉サービス等事業収益         | 2,112,166 | 2,065,332 | 46,833  |
|                                    | 生活保護事業収益              | 261,323   | 256,981   | 4,342   |
|                                    | 医療事業収益                | 3,043,230 | 3,019,553 | 23,678  |
|                                    | 私的契約事業収益              | 12,112    | 11,499    | 612     |
|                                    | 経常経費寄附金収益             | 3,566     | 4,715     | △1,149  |
|                                    | サービス活動収益計(1)          | 6,473,787 | 6,417,458 | 56,329  |
|                                    | 費用                    |           |           |         |
|                                    | 人件費                   | 4,299,583 | 4,279,034 | 20,549  |
|                                    | 事業費                   | 784,922   | 772,441   | 12,481  |
|                                    | 事務費                   | 480,036   | 452,134   | 27,902  |
|                                    | 就労支援事業費用              | 8,326     | 8,786     | △460    |
|                                    | 利用者負担軽減額              | 1,735     | 1,753     | △17     |
|                                    | 減価償却費                 | 552,151   | 531,918   | 20,233  |
|                                    | 国庫補助金等特別積立金取崩額        | △172,621  | △203,256  | 30,635  |
|                                    | 徴収不能引当金繰入             | 0         | 0         | 0       |
|                                    | サービス活動費用計(2)          | 5,954,133 | 5,842,810 | 111,323 |
|                                    | サービス活動増減差額(3)=(1)-(2) | 519,654   | 574,648   | △54,994 |
|                                    | サービス活動外増減の部           |           |           |         |
|                                    | 収入                    |           |           |         |
|                                    | 受取利息配当金収益             | 10,945    | 11,962    | △1,017  |
|                                    | その他のサービス活動外収益         | 12,602    | 12,834    | △232    |
| サービス活動外収益計(4)                      | 23,548                | 24,797    | △1,249    |         |
| 費用                                 |                       |           |           |         |
| その他のサービス活動外費用                      | 719                   | 2,351     | △1,632    |         |
| サービス活動外費用計(5)                      | 719                   | 2,351     | △1,632    |         |
| サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)             | 22,829                | 22,446    | 383       |         |
| 経常増減差額(7)=(3)+(6)                  | 542,483               | 597,093   | △54,611   |         |
| 特別増減の部                             |                       |           |           |         |
| 収入                                 |                       |           |           |         |
| 施設整備等補助金収益                         | 37,100                | 376,153   | △339,053  |         |
| 固定資産受贈額                            | 0                     | 4,092     | △4,092    |         |
| 特別収益計(8)                           | 37,100                | 380,245   | △343,145  |         |
| 費用                                 |                       |           |           |         |
| 固定資産売却損・処分損                        | 1,154                 | 10,362    | △9,208    |         |
| 国庫補助金等特別積立金取崩額(除)                  | 0                     | △4,238    | 4,238     |         |
| 国庫補助金等特別積立金積立額                     | 37,255                | 376,153   | △338,899  |         |
| 特別費用計(9)                           | 38,408                | 382,277   | △343,869  |         |
| 特別増減差額(10)=(8)-(9)                 | △1,308                | △2,031    | 723       |         |
| 当期活動増減差額(11)=(7)+(10)              | 541,174               | 595,062   | △53,887   |         |
| 繰越活動増減差額の部                         |                       |           |           |         |
| 前期繰越活動増減差額(12)                     | 8,460,640             | 8,371,861 | 88,779    |         |
| 当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)          | 9,001,815             | 8,966,923 | 34,891    |         |
| 基本金取崩額(14)                         | 0                     | 0         | 0         |         |
| その他の積立金取崩額(15)                     | 159,595               | 243,965   | △84,371   |         |
| その他の積立金積立額(16)                     | 868,920               | 750,248   | 118,672   |         |
| 次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)+(16) | 8,292,490             | 8,460,640 | △168,151  |         |

## 貸借対照表

|                       | 資産の部       |            |          |
|-----------------------|------------|------------|----------|
|                       | 当年度末       | 前年度末       | 増減       |
| 流動資産(1)               | 2,377,571  | 2,598,179  | △220,608 |
| 現金預金                  | 1,422,685  | 1,547,594  | △124,909 |
| 有価証券                  | 0          | 0          | 0        |
| 事業未収金                 | 920,480    | 975,211    | △54,731  |
| 未収金                   | 0          | 0          | 0        |
| 未収補助金                 | 16,638     | 30,780     | △14,141  |
| 医薬品(2)                | 4,942      | 4,448      | 493      |
| 立替金                   | 87         | 24,416     | △24,329  |
| 前払金                   | 1,897      | 4,232      | △2,335   |
| 前払費用                  | 7,575      | 7,474      | 101      |
| (ワンYEARルール流動資産の合計)(3) | 1,061      | 1,454      | △393     |
| 1年以内返済予定長期貸付金         | 1,061      | 1,454      | △393     |
| 仮払金                   | 2,206      | 2,571      | △364     |
| 徴収不能引当金(4)            | 0          | 0          | 0        |
| 固定資産                  | 15,418,253 | 15,056,088 | 362,165  |
| 基本財産                  | 8,003,241  | 8,321,630  | △318,389 |
| 土地                    | 1,774,367  | 1,774,367  | 0        |
| 建物                    | 6,228,873  | 6,547,262  | △318,389 |
| その他の固定資産              | 7,415,013  | 6,734,459  | 680,554  |
| 土地                    | 595,697    | 513,611    | 82,085   |
| 建物                    | 179,393    | 220,239    | △40,845  |
| 構築物                   | 418,778    | 459,730    | △40,952  |
| 車輦運搬具                 | 26,884     | 35,754     | △8,870   |
| 器具及び備品                | 227,270    | 245,381    | △18,112  |
| 建設仮勘定                 | 0          | 0          | 0        |
| 有形リース資産               | 0          | 0          | 0        |
| 権利                    | 3,474      | 3,836      | △362     |
| 預託金                   | 3,920      | 3,941      | △21      |
| ソフトウェア                | 8,679      | 9,873      | △1,195   |
| 長期貸付金                 | 6,398      | 6,199      | 199      |
| 役員退職慰勞引当資産            | 1,930      | 2,440      | △510     |
| 退職給付引当資産              | 33,678     | 27,695     | 5,983    |
| (積立預金の合計)             | 5,899,544  | 5,190,253  | 709,291  |
| 運営資金積立資産              | 886,863    | 717,648    | 169,216  |
| 土地購入積立資産              | 532,000    | 420,000    | 112,000  |
| 建設準備積立資産              | 540,000    | 460,000    | 80,000   |
| 人件費積立資産               | 66,500     | 62,500     | 4,000    |
| 修繕積立資産                | 543,000    | 493,000    | 50,000   |
| 備品等購入積立資産             | 310,808    | 295,638    | 15,170   |
| 減価償却積立資産              | 2,906,500  | 2,628,500  | 278,000  |
| リスク対策積立資産             | 47,459     | 46,459     | 1,000    |
| 移行時特別積立資産             | 11,000     | 11,000     | 0        |
| 御下賜金記念基金積立資産          | 55,000     | 55,000     | 0        |
| その他の積立資産              | 413        | 508        | △95      |
| 差入保証金                 | 0          | 144        | △144     |
| 長期前払費用(5)             | 9,337      | 15,331     | △5,993   |
| その他の固定資産              | 30         | 30         | 0        |
| 資産の部合計                | 17,795,824 | 17,654,267 | 141,557  |

単位：千円

|   | 負債の部       |            |          |
|---|------------|------------|----------|
|   | 当年度末       | 前年度末       | 増減       |
| 流動負債(6)                                   | 499,420    | 766,350    | △266,930 |
| 事業未払金                                     | 238,577    | 500,855    | △262,278 |
| (ワンYEARルール流動負債の合計)(7)                     | 2,760      | 2,760      | 0        |
| 1年以内返済予定設備資金借入金                           | 2,760      | 2,760      | 0        |
| 1年以内返済予定リース債務                             | 0          | 0          | 0        |
| 預り金                                       | 179        | 749        | △570     |
| 職員預り金                                     | 29,473     | 32,580     | △3,107   |
| 前受金                                       | 0          | 2          | △2       |
| 前受収益                                      | 990        | 990        | 0        |
| 仮受金                                       | 501        | 45         | 456      |
| 賞与引当金(8)                                  | 226,940    | 228,369    | △1,429   |
| ※当期末支払資金残高(1)-(2)-(3)-(4)+(5)-(6)+(7)+(8) | 2,111,186  |            |          |
| 固定負債                                      | 61,138     | 58,425     | 2,713    |
| 設備資金借入金                                   | 25,530     | 28,290     | △2,760   |
| リース債務                                     | 0          | 0          | 0        |
| 役員退職慰勞引当金                                 | 1,930      | 2,440      | △510     |
| 退職給付引当金                                   | 33,678     | 27,695     | 5,983    |
| 負債の部合計                                    | 560,559    | 824,775    | △264,216 |
| 純資産の部                                     |            |            |          |
| 基本金                                       | 29,492     | 29,492     | 0        |
| 基本金                                       | 29,492     | 29,492     | 0        |
| 国庫補助金等特別積立金                               | 3,013,740  | 3,149,107  | △135,366 |
| 国庫補助金等特別積立金                               | 3,013,740  | 3,149,107  | △135,366 |
| その他の積立金                                   | 5,899,544  | 5,190,253  | 709,291  |
| 運営資金積立金                                   | 886,863    | 717,648    | 169,216  |
| 土地購入積立金                                   | 532,000    | 420,000    | 112,000  |
| 建設準備積立金                                   | 540,000    | 460,000    | 80,000   |
| 人件費積立金                                    | 66,500     | 62,500     | 4,000    |
| 修繕積立金                                     | 543,000    | 493,000    | 50,000   |
| 備品等購入積立金                                  | 310,808    | 295,638    | 15,170   |
| 減価償却費積立金                                  | 2,906,500  | 2,628,500  | 278,000  |
| リスク対策積立金                                  | 47,459     | 46,459     | 1,000    |
| 移行時特別積立金                                  | 11,000     | 11,000     | 0        |
| 御下賜金記念基金積立金                               | 55,000     | 55,000     | 0        |
| その他の積立金                                   | 413        | 508        | △95      |
| 次期繰越活動増減差額                                | 8,292,490  | 8,460,640  | △168,151 |
| 次期繰越活動増減差額                                | 8,292,490  | 8,460,640  | △168,151 |
| (うち当期活動増減差額)                              | 541,174    | 595,062    | △53,887  |
| 純資産の部合計                                   | 17,235,265 | 16,829,492 | 405,774  |
| 負債及び純資産の部合計                               | 17,795,824 | 17,654,267 | 141,557  |

1. 減価償却費の累計額 7,218,993,593 円
2. 徴収不能引当金の額 0 円

# 学園 FOCUS



佐賀整肢学園で活躍する様々な人に焦点を当てる「学園 FOCUS」。

今回は、こども発達医療センターの荒巻良太さんに、特技の「大道芸」について、熱く語っていただきました！

**Q** 大道芸を始められたのはいつ頃ですか？何かきっかけがあったのでしょうか？

**A** 明確に始めたのは22～23歳の時だったと思います。大学の学祭でディアポロ（中国コマ）のショーを見て購入してみたのがきっかけです。YouTube やインターネットサイトを見て独学で習得しました。

**Q** どのような芸ができますか？

**A** ディアポロ、バルーンアート、ダイスタッキングができます。皿回しも回すだけならできます。今はデビルスティックを練習中です。やってみて楽しそうだなと思うものに取り組んでいますし、見る人も楽しめたらいいなという思いでやっています。

**Q** センターの秋祭りで大道芸を拝見したのですが、今までどういった場所で披露されてきましたか？

**A** 基本、大勢の前で披露することはしていないのですが、身内の集まりで子どもたちに披露したり、同僚の結婚式の飾りつけでバルーンアートを提供したりしています。こどもセンターのイベントで披露したのは、やってみないかと声をかけてもらったことがきっかけです。秋祭りではディアポロとバルーンアートを披露しました。



**Q** 初心者でもとっかかりやすい大道芸はありますか？

**A** バルーンアートがとっかかりやすいかもしれません。ディアポロも5～10分練習すればとりあえず回せるようにはなりますよ。

※当院では、ラテックスアレルギーに配慮し、バルーンアートの展示等を行っております。



あらまき りょうた  
荒巻 良太 さん

こども発達医療センター  
リハビリテーション部  
言語療法科言語療法係

**Q** バルーンアートは風船を割りそうで怖いのですが、コツはありますか？また、今まで作ったバルーンアートで大変だったものはなんですか？

**A** 割れそうで怖いとよく言われます（笑）。割れないようにするコツは、まず風船をよく伸ばすことと、空気を入れた後に少し空気を抜くことです。空気の量を7～8割にすると風船内に余裕がでて割れにくくなりますよ。作ったもので難しかったのは、写真で載せているクリスマスのバルーンアートですかね。



**Q** 大道芸の魅力はなんですか？

**A** 僕はSTですが人前で話すことが苦手です（笑）。大道芸は言葉がいらなくて動きや音楽で人を楽しませることができるところだなと思います。



# 常務随想

『保養所、もっと利用を!』

社会福祉法人佐賀整肢学園は、法人で勤務する約1000名の職員の福利厚生のために、長崎県佐世保市のハウステンボス・ワッセナー内に2階建住宅一棟を、大分県由布市の湯布高原村に平屋建の保養所一棟を取得している。また、県内の近場に、気軽に利用できる保養所が欲しいという職員の希望に添うため、佐賀市富士町上熊の川に、温泉付き保養所二棟を新築整備したところである。

最近のこれらの施設の利用状況を見てみると、次のとおりとなっている。

| 年度    | ハウステンボス<br>保養所 | 湯布院保養所 | 熊の川保養所 |
|-------|----------------|--------|--------|
| 令和3年度 | 54件            | 68件    | 324件   |
| 令和2年度 | 95件            | 64件    | 238件   |
| 令和元年度 | 122件           | 104件   | 158件   |

コロナ禍発生前の令和元年度と比較しても、県外への外出・旅行がままならなかったことによる「ハウステンボス」・「湯布院」の利用状況の落ち込みは一目瞭然であるが、その代わり県内近場の「熊の川」の利用が、想定以上に活況を呈しているようだ。これらの保養所の取得に当たっては、法人としてもかなりの負担を行っており、当然、施設の有効活用が期待されている。

コロナ禍前は、年間を通して、ほぼ3日に一件の利用状況であったハウステンボスと湯布院の保養所が、一日も早くコロナ禍が終息して、以前のような利用状況に復帰することを願っている。

(常務理事 寺崎 敏光)

# Relay Column



からつ医療福祉センター  
アルトン入院診療部生活支援係  
児童指導員

のぎき まな  
**野崎 茉奈**

数年前ですが、「山ガール」という登山を趣味とする女性たちが流行しました。そんな中、私も高校では登山部に所属をしておりました。というのも、登山であれば運動神経が皆無の自分でもやっつけられるだろうという安易な気持ちで入部をしました。幸いにも、仲の良い友人たちが一緒に入部してくれたので、初めはゆるゆるのピクニック気分で鏡山に登っていました。しかし登山といえども運動部。私も入部するまでは知らなかったのですが、登山にも大会があります。入部してすぐ夏の県総体はアマチュア出場でしたが、秋からの新人戦では本格的に出場することになりました。やるからには全力でやろうとチームで準備と練習を重ね、県大会で優勝することが出来ました。それからは九州大会で霧島山、全国大会で当時まだ入山可能であった箱根山など、様々な山を登りました。大会中は猛暑での登山やテントでの生活でストレスを感じる事もありましたが、今振り返ってみればかけがえのない経験でした。

私が登山を通して得たものは、体力、忍耐力、そして、自分は岩を登るのが得意だと気付けたことです。何でも経験してみても気付くことがあるものだ実感しました。入社して3年目を迎えました。先輩方からご指導いただき、気づきや学びの日々です。今後も忍耐力を武器に精進してまいります。

NEXT...向陽園のあの人にバトンタッチ!!

## 令和4年5月～令和4年7月

協力ボランティア

【こども】 整肢学園友の会様 親和会様

施設見学来訪

【オークス】 嬉野特別支援学校 1名様

【からつ・好・糸】 か) 唐津看護専門学校 7名様 唐津市障害者相談支援センター 2名様 唐津特別支援学校 14名様 伊万里特別支援学校 2名様 鷹島小学校 1名様 大坪小学校 1名様 立花小学校 1名様 東唐津小学校 1名様 玉島小学校 1名様 松浦保育園 1名様 糸) TEKUNOBI 糸島 1名様 今津特別支援学校 6名様

実習生受入

【こども】 佐賀女子高等学校衛生看護専攻科 19名 西九大学子ども学部こども学科 2名 大分リハビリテーション専門学校 1名 柳川リハビリテーション学院 1名

【オークス】 西九州大学短期大学部地域生活支援学科 2名

【清流苑】 神埼清明高校 5名

【からつ・好・糸】 か) 唐津看護専門学校 20名 伊万里看護学校 35名 西九州大学こども学科 2名 西九州大学リハビリテーション学科 1名 西九州大学短期大学部幼児保育学科 3名 西九州大学短期大学部地域生活支援学科 2名 大分リハビリテーション専門学校 1名 好) 西九州大学短期大学部幼児保育学科 1名 西九州大学子ども学部子ども学科 1名

# 見どころ

夏の暑さがようやく去り、お出かけにはぴったりの季節がやってきました。コロナによる様々な制限の終わりが見えない日々が続いていますが、各施設ではしっかりと感染対策をしながら、アイデア満載の様々な行事を実施しています。コロナ禍でも、利用者の皆さんに出来る限り楽しんでいただきたい、という職員の熱い想いのこもった事業所 TOPICS を、ぜひ御覧下さい。



## 学園タイムス

# 表紙写真大募集!

学園タイムスの表紙を飾る写真を職員の皆さんから募集しています。佐賀県及び糸島市で撮影した写真であれば、風景はもちろん、食べ物や飲み物、催事等、どんな写真でもご応募いただけます。下記 QR コードからメールで簡単に応募可能です。



たくさんのご応募、お待ちしております。